

様式第6号(第6条関係)



29年 4月 13日

(宛先) 安曇野市議会議長 濱 昭次

会派名 公明党

代表者氏名 小松 芳樹

経理責任者氏名 中村今朝子



### 28年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、28年度政務活動費収支報告書を提出します。

#### 1 収支決算

収入の部

(単位:円)

項目	決算額	備考
政務活動費	270,000	90,000×3人
合計	270,000	

支出の部

項目	決算額	備考
調査研究費	70,440円	三郷市、三郷市教育委員会 視察研修 交通費 34,260円 宿泊代 36,000円 お土産代 4,427円 (総額 74,687円のうち 70,440円を充当)
研修費	126,780円	議員研修会への参加(10月) 交通費 27,780円 研修費 75,000円 宿泊代(2名で27,000円のう ち24,000円を充当)

研修費	72,780円	議員研修会への参加(2月) 交通費 27,780円 研修費 45,000円
合 計	270,000円	

2 収入支出差引残高 0 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	埼玉県三郷市、三郷市教育委員会視察研修	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	「日本一の読書のまち三郷について」「新三郷駅前開発について」視察し市政に反映させるため	
活動の概要	日時	28年 7月11日(月) から28年 7月12日(火) まで
	研修先・主催者等	三郷市教育委員会・彦郷小学校 三郷市
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書表現活動・2年生のビブリオバトル授業参観</li> <li>・学校読書ボランティア活動を拝見</li> <li>・学校図書館他施設見学</li> <li>・新三郷駅前の大型施設視察 (COSTCO 新三郷倉庫店・ららぽーと新三郷)</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年の歳月をかけて色々な課題を乗り越えて「日本一の読書のまち三郷」に取り組んで来られたことは、参考になった。</li> <li>・読書ボランティアの活動や学校・家庭における読書活動は本市においても生かせると思う。</li> <li>・小学1年生を対象に本をプレゼントする「セカンドブックスタート事業」は本市においても取り組んでほしいと思う。</li> <li>・雑誌スポンサー制度を本市においても取り組めないかと思う。</li> <li>・新三郷駅前開発は上記視察先の他に IKEA もあり、安曇野インター東の開発が課題の本市においても参考になった。</li> </ul> <p>詳細については、視察報告書に記載した。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	地方議員研究会主催の研修会への参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	「本格的少子高齢時代における地方議会」・「医療介護政策を通じて議会改革・議会基本条例を考える」について研修を受け資質向上を図る。	
活動の概要	日時	28年10月24日(月)から28年10月25日(火)まで
	研修先・主催者等	地方議員研究会主催
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化・情報化の進展と社会格差の拡大が進む。</li> <li>・人・物・情報・資本は国の壁を越えて自由に移動する時代になってきている。生活に豊かさを与えてくれると同時に負の側面も大きくなってきている。</li> <li>・本格的少子高齢化社会において、都市部と地方の違いが現れてくる。いかに人口を増やしていくかが課題</li> <li>・地域での個の孤立の拡大</li> <li>・地方自治体の機能不全が不安</li> <li>・地方分権を進めていく上で地方自治体の適切な意思決定をすることが大切</li> <li>・二元代表制であり、首長と共に地域をよりよくするために政策提言や行政の施策チェックを行う責務がある。</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の問題解決をするのが議会、議員はもっと学び資質向上に務めることが大切と思う</li> <li>・政策提案機能を充実させることが大切と思う</li> <li>・活動内容をもっと住民に伝えていくことが大切と思う</li> <li>・まち・ひと・しごと創生法のもと医療・福祉・介護の充実をいかに図っていくかが課題</li> <li>・雇用の安定・充実により安定した生活が送れるようになり、結婚して子どもを安心して出産し子育てできるまちづくりが大切と思う。そのための政策提案をしていきたいと思う</li> </ul>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	地方議員研究会主催の研修会への参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	「人口減少社会における持続可能な医療・介護を考える」について研修を受け資質向上を図る	
活動の概要	日時	29年2月 6日(月)
	研修先・主催者等	地方議員研究会主催
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年から本格的な少子高齢化社会がくる。</li> <li>・団塊の世代が後期高齢者となると、国保の医療費が今の1.5倍以上になる。</li> <li>・都市部では後期高齢者の急増による医療・介護資源の絶対的な不足。地方では人口の急減による自治体の消滅が予測される。</li> <li>・なぜ日本の合計特殊出生率が低いのか             <ul style="list-style-type: none"> <li>*非正規雇用など若年層の雇用不安</li> <li>*女性の晩婚化と出生数の減少</li> <li>*若年層の東京圏への移住傾向</li> </ul> </li> <li>・医師・看護師不足問題</li> <li>・まち・ひと・しごと創生法の中でも医療・介護の取り組みが浅い</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<p>今していかないといけないこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正規雇用を増やすこと。(安定した収入を得ることができ結婚しようと思う若者が増える。)</li> <li>2. 女性が安心して出産し子育てでき、出産後の再就職支援を行うこと。</li> <li>3. 若者の都市流出をとどめること。</li> </ol> <p>以上の3点があげられる。</p> <p>当市としても持続・発展させていくための具体的な施策(魅力あるまちづくり)を考えていくことが必要である。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後に